詩活の死活

この時代に詩を語るということ

新刊

祝米寿

日本語で詩と信じる何かを書くことしか残されていない私にとって、この本はこれからの私にとって一つの、しかも多様なメルクマールになるだろう。

（谷川俊太郎「あとがき」より）

◇一九七〇年代後半から現在までを展望する
◇読む詩、聴く詩
◇詩の朗読と翻訳をめぐって
◇最新作を読む
◇詩の話、詩の話、そのほかに
◇〈こども〉の詩を語る
◇詩に就いて詩で語ること
◇詩を書くことは私の天職である
◇【付録】谷川俊太郎全詩集ツイート

四六判　ソフトカバー装
本文 374 頁
定価 2,300 円＋税

澪標 みおつくし　大阪市中央区内平野町 2-3-11-202　Tel.06(6944)0869　Fax.06(6944)0600　振替 00970-3-72506
書店にない場合は、注文書にご記入の上、書店にご注文いただくか、弊社・澪標（みおつくし）あてに、電話・ファックスでご注文ください。

注文書

書名 詩活の死活　谷川俊太郎、田 原、山田兼士 著　注文数

お名前　TEL.

ご住所　〒　－

発行・発売 澪標 みおつくし 大阪市中央区内平野町2-3-11-202 Tel.06(6944)0869 Fax.06(6944)0600 振替00970-3-72506

ISBN978-4-86078-487-4 C0095 ¥2300E　定価 本体2,300円+税

地方小出版

書店（番線印）